

## 〔特集〕 各国の年金制度

国名	オーストラリア
公的年金の体系 保険料財源 税財源 企業・個人年金	<p>2階建て</p>
被保険者 (◎強制△任意×非加入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会保障年金 (老齢年金) (1階) 税方式</li> <li>・ 退職年金保障 (2階) ◎被用者, △自営業者, ×無職</li> </ul>
保険料率 (2020年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会保障年金 (1階) は税方式であり, 保険料拠出を必要としない</li> <li>・ 退職年金保障 (2階) の保険料については, 9.5%の事業主負担</li> </ul>
支給開始年齢 (2020年)	66歳
基本受給額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単身者: 860.60豪ドル / 2週間</li> <li>・ 夫婦: 各648.70豪ドル / 2週間</li> </ul> (上記は社会保障年金の受給額。2020年第2四半期現在)
給付の構造	所得制限及び資産制限に基づく税方式の社会保障年金により低所得者の所得保障を行うのに加え, 被用者については積立方式の退職年金保障により所得を保障
所得再分配	社会保障年金における資産・所得制限により給付減額あり
公的年金の財政方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会保障年金 (1階) ⇒ 税方式</li> <li>・ 退職年金保障 (2階) ⇒ 社会保険方式 (強制積立)</li> </ul>
国庫負担	社会保障年金の財源全額。退職年金保障への個人拠出に対し助成あり
年金制度における最低保障	所得制限に基づく社会保障年金支給
無年金者への措置	公的扶助で対応
公的年金と私的年金	退職年金保障は民間基金で運用。なお, 任意拠出ができる。
国民への個人年金情報の提供	HPや電話, 各地のCentrelinkにおける相談業務等にて対応

(西村 淳・神奈川県立保健福祉大学教授)